

令和7年度 建築士の日

記念講演 および パネルディスカッション

令和7年6月29日(日) AM10:00より
配信開始(60分)

テーマ

いつもの暮らしにも 災害時にも 命と暮らしを守る「一室改修」のすすめ

耐震、省エネ等の十分な性能を有していない既存住宅は、生活する住民に取って大きな不安を与えています。しかし一室だけでも性能がアップできれば健康や生命に対するリスクを大幅に減少させることができます。市民に必要な「一室改修」に関する情報を(公社)日本建築士会連合会がお伝えさせていただきます。



基調講演

伊香賀 俊治 氏



20分

「誰ひとり取り残さないために、
せめてひと部屋断熱改修で
暖かく涼しく健康に」

プロフィール

1983年 早稲田大学大学院理工学研究科修了
1983年 (株)日建設計 設備部員
1998年 東京大学生産技術研究所助教授
2000年 (株)日建設計 環境計画室長
2006年 慶應義塾大学理工学部教授
2024年 同名誉教授 一般財団法人住宅・建築SDGs推進センター理事長

今村 聰 氏



20分

「医師からみた、健康省エネ
住宅の重要性」

プロフィール

1977年 秋田大学医学部卒
1989年 浜松医科大学講師
1991年 板橋区に医療法人聰伸会今村医院開業
2004年 東京都医師会理事
2007年 日本医師会常任理事
2011年 板橋区医師会副会長
2013年～日本医師会副会長

パネルディスカッション

進行役 古谷 誠章 氏

パネリスト 伊香賀俊治+今村聰+古谷誠章



20分

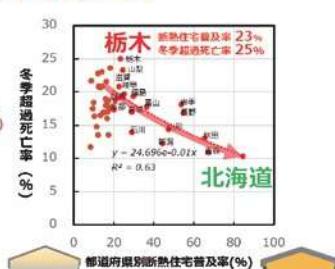
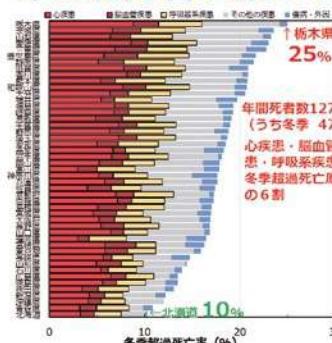
「一室改修を進めるには」

プロフィール

1980年 早稲田大学大学院理工学研究科修了
1986～1994年 近畿大学工学部講師
1994年 早稲田大学理工学部(創造理工学部)
助教授、NASCA設立
1997年～2025年3月 同教授
2024年6月 公益社団日本建築士会連合会会長
2025年4月 早稲田大学/栄誉フェロー

ひと部屋断熱改修がもっと普及していたら ...

冬の病死者を減らしていたかも



*1: 厚生労働省「令和2年社会統計年報」、心疾患死因別「人口動態統計(2014年) 都道府県別・月別」
*2: 4月～11月の平均気温と冬期に對する12月からの平均気温の差を算出した割合(%)
*3: 「冬の病死を減らす住宅改修」に対する「二重サッシは断熱力のあらわしを別」の割合

ひと部屋断熱改修がもっと普及していたら ...

災害関連死を減らしていたかも

地震、豪雨などの直接死に対する災害関連死の倍率

0.4倍 (3786人/12114人)
1.6倍 (13人/8人) 住1
4.0倍 (221人/55人) 住1
1.6倍 (356人/228人) 住2

能登半島地震災害関連死原因	
循環器系疾患	32%
呼吸器系疾患	30%
消化器系疾患+感染症	5%



注1: NHK WEBニュース 2025.3.1アクセス



注2: NHK WEBニュース 2025.4.18報道

えっ！住まいの断熱化で 健康で長生きできるの？

建築と医療の専門家に答えてもらいます！

記念講演およびパネルディスカッション

皆さんご存じですか？
7月1日は建築士の日！

(6月29日10時～無料配信中)

YouTubeにて
無料配信中

申込不要



<https://x.gd/dP8ON>

テーマ

いつもの暮らしにも
災害時にも

命と暮らしを守る「一室改修」のすすめ

内容

耐震、省エネ等の十分な性能を有していない既存住宅は、生活する住民に取って大きな不安を与えています。しかし、一室だけでも性能がアップできれば健康や生命に対するリスクを大幅に減少させることが可能となります。市民に必要な「一室改修」に関する情報を(公社)日本建築士会連合会がお伝えさせていただきます。

基調講演



講師 延慶義塾大学理工学部名譽教授／
(一財)住宅・建築SDGs推進センター理事長

伊香賀 俊治氏

「誰ひとり取り残さないために、
せめてひと部屋断熱改修で
暖かく涼しく健康に」

20分



講師 日本医師会元副会長

今村 聰氏

「医師からみた、
健康省エネ住宅の
重要性」

20分



進行役 日本建築士会連合会会長／
早稲田大学名誉フェロー

古谷 誠章氏

「一室改修を進めるには」

20分

パネリスト

伊香賀俊治+今村聰+古谷誠章

ひと部屋断熱改修がもっと普及していたら…

家庭内事故を減らしていたかも

2023年度

転倒転落^{注)}
2,709人



同一平面 74%
階段等 18%
屋根等 8%

浴槽での溺死^{注)}
6,354人

注)厚生労働省人口動態統計の「家庭内の不慮の事故死」と「交通事故死(1年以内死亡)」、
警察庁の交通事故死統計(24時間以内死亡)をグラフ化

災害関連死を減らしていたかも

地震、豪雨などの
直接死に対する
災害関連死の倍率

東日本大震災(2011.3)

0.4倍(3786人/12114人)^{注)}

関東・東北豪雨(2015.9)

1.6倍(13人/8人)^{注)}

熊本地震(2016.4)

4.0倍(221人/55人)^{注)}

能登半島地震(2024.1)

1.6倍(356人/228人)^{注)}



注1：NHK WEB 災害列島 命を守る情報サイト
2025.3.1アクセス

能登半島地震
災害関連死原因

循環器系疾患 32% 呼吸器系疾患 30% 消化器系疾患+感染症 5%

お問合せ

公益社団法人 日本建築士会連合会

Mail:jigyo1@kenchikushikai.or.jp

日本建築士会連合会は、全国組織であり、建築士の職能の向上と社会貢献を目的に活動している公益法人です。